

北区自治協議会 会議概要

令和6年度 第3回北区自治協議会		
開催日時	令和6年6月20日（木曜） 午後1時30分～午後2時30分	
会 場	豊栄地区公民館 大講堂	
出席者 * 敬称略	委 員	菊地委員、坪木委員、諏訪委員、小日向委員、飛鳥井委員、佐藤委員、前田委員、恩田委員、清水(博)委員、有田(一)委員、佐久間委員、佐藤(茂)委員、清水(文)委員、小熊委員、渡邊委員、三浦委員、石山委員、横山委員、小林委員、伊藤委員、遠藤委員、川島委員、佐藤(哲)委員 計 23 人（欠席：阿部委員、皆川委員、竹島委員、寺山委員、有田委員、野口委員、日下委員）
	事務局等	〔北区役所関係〕 区長、副区長兼地域総務課長（以下「副区長」）、区民生活課長補佐、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、消防局北消防署長、農業委員会事務局北区事務所長、豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐2人、地域総務課職員5人、 計 16 人
内 容	1 開会 2 報告事項 （1）公の施設に係る受益者負担について ◎報告資料1に基づき、財務課から説明がありました。 【主な質問・意見等】 ・北区郷土博物館について、有料化するのが心配である。無料のままで、多くの人に博物館に来ていただき、地域の魅力発信をして行って欲しいと思っている。 →郷土博物館についても、受益者負担割合25パーセントのグループで整理しており、北区郷土博物館は有料化に向けて検討を進めているところである。ただ、教育的な観点から、小学校、中学校について無料にできないか検討をしている。 ・9月の議会上程の前に、北区ではどのような説明が予定されているのか。 →8月の自治協議会で、北区の各施設について報告を予定している。 ・利用が少ない施設について、大幅な引き上げになるということか。 →地域性などで利用率が低い場合もあるため、市内全域の利用率の平均利用率を算出し、平均並みに利用があるという前提で計算し、影響を緩和する。 ・公費の負担を減らすために、市民に負担を求めるのはいかがなものか。 →利用する人と利用しない人の公平性の観点から、施設の種類に応じて一定の負担をお願いしたいと考えている。	

内 容	(2) 令和7年度区づくり予算事業について ◎報告資料2に基づき、副区長から説明がありました。 【主な質問・意見等】 ・ 昨年は、コミュニティ協議会で多くの意見が出た。自治協委員の名前ではなく、意見を出した人の名前でアイデアを出しても良いか。 →コミュニティ協議会の提案ということで、代表で選出されている委員の名前でアイデアを提出していただきたい。 (3) 令和6年度教育委員会事業概要について ◎報告資料3に基づき、教育支援センター長より質問がありました。 【主な質問・意見等】 ・ 中学校のエレベーター設置校は、どこの学校でしょうか。 →東新潟中学校です。 ・ これまでも、学校の先生の多忙化解消に取り組んできたと思うが、取り組み内容と成果を教えて欲しい。 →多忙化を解消する行動計画を策定している。先生の残業時間が45時間以下にする取り組みについて、令和4年度は73.5パーセントだったが、令和5年度は76.5パーセントに少し改善している。今後も引き続き、取り組んでいく。 ・ コミュニティスクールについて、何か分からない地域の方が多くいる。 →教育委員会としてPRしていく必要があると考えている。 (4) 早通地域別実行計画の策定について ◎報告資料4に基づき、副区長から説明がありました。 【主な質問・意見等】 ・ 新潟市は新しい施設は作らないという方針だと思うが、新しい施設を作っていくという方針の計画なのか。 →施設の統合や再編について考えていくものである。 (5) 部会の会議概要について ◎各部長から報告資料5に基づき報告がありました。 3 その他 ○豊栄地区公民館より「身近にあるアンコンシャスバイアスを知る」などについて案内がありました。 次回協議会日程について ◎次回協議会は7月27日(木)午後1時30分から北地区コミュニティセンターで開催
-----	---

	5 閉会
傍 聴 者	2 人
会 議 資 料 等	令和6年度 第3回北区自治協議会次第 報告資料1：【概要版】公の施設に係る受益者負担の設定基準 報告資料2：特色ある区づくり予算 報告資料3：令和6年度 教育委員会事業概要 報告資料4：新潟市財産経営NEWS広報紙「早通地域のまちづくり」 報告資料5：部会の会議概要